

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 26 日 (2012.1.26)

【公表番号】特表 2011-518761 (P2011-518761A)

【公表日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報 2011-026

【出願番号】特願 2010-535152 (P2010-535152)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者に対して、1 日当たり該患者の体表面積 1 m^2 に対して 4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン換算量で 2.0 ~ 4.0 mg の量を 168 ~ 336 時間かけてもたらすのに十分な濃度で、4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン又はその塩を含有する抗腫瘍剤を持続静脈内投与するための組成物。

【請求項 2】

前記抗腫瘍剤の濃度が、1 日当たり前記患者の体表面積 1 m^2 に対して 4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン換算量で 2.0 mg の量を 336 時間かけてもたらすのに充分である請求項 1 記載の抗腫瘍剤を持続静脈内投与するための組成物。

【請求項 3】

前記抗腫瘍剤の濃度が、1 日当たり前記患者の体表面積 1 m^2 に対して 4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン換算量で 3.0 mg の量を 168 時間かけてもたらすのに充分である請求項 1 記載の抗腫瘍剤を持続静脈内投与するための組成物。

【請求項 4】

前記抗腫瘍剤の濃度が、1 日当たり前記患者の体表面積 1 m^2 に対して 4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン換算量で 2.0 mg の量を 336 時間かけてもたらすのに充分であり、該患者に対して、前記抗腫瘍剤を 1 治療コースとして 3 週間に 1 回投与し、該治療コースを少なくとも 2 回行う請求項 1 記載の抗腫瘍剤を持続静脈内投与するための組成物。

【請求項 5】

前記抗腫瘍剤の濃度が、1 日当たり前記患者の体表面積 1 m^2 に対して 4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン換算量で 3.0 mg の量を 168 時間かけてもたらすのに充分であり、該患者に対して、前記抗腫瘍剤を 1 治療コースとして 2 週間に 1 回投与し、該治療コースを少なくとも

2 回行う請求項 1 記載の抗腫瘍剤を持続静脈内投与するための組成物。

【請求項 6】

1 日当たり患者の体表面積 1 m^2 に対して 4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン換算量で 2 . 0 ~ 4 . 0 mg の量を 1 6 8 ~ 3 3 6 時間かけてもたすのに十分な濃度まで、生理学的に許容される抗腫瘍剤静脈内搬送用液状媒体で希釈した、4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン又はその塩を含有する容器を含む、患者に対して抗腫瘍剤を持続静脈内投与するための組成物。

【請求項 7】

前記抗腫瘍剤の濃度が、1 日当たり前記患者の体表面積 1 m^2 に対して 4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン換算量で 2 . 0 mg の量を 3 3 6 時間かけてもたすのに充分である請求項 6 記載の抗腫瘍剤を持続静脈内投与するための組成物。

【請求項 8】

前記抗腫瘍剤の濃度が、1 日当たり前記患者の体表面積 1 m^2 に対して 4 - アミノ - 1 - (2 - シアノ - 2 - デオキシ - - D - アラビノフラノシル) - 2 (1 H) - ピリミジノン換算量で 3 . 0 mg の量を 1 6 8 時間かけてもたすのに充分である請求項 6 記載の抗腫瘍剤を持続静脈内投与するための組成物。